

1. 活動の概要

12月11日(金)、出雲市立窪田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

はじめに埋蔵文化財調査センターの職員から出雲市佐田町にある遺跡について説明がありました。身近なところに遺跡がたくさんあること、なかでも製鉄関連の遺跡が多く、児童たちは驚いた様子で話を聞いていました。

次に「古代の鏡やお金」について説明を聞きました。鏡の種類が意外に多かったことや、今は異なる使われ方をしたこと、お金の歴史などを興味深そうに耳を傾けていました。児童たちは時折クイズ形式で問いかげられると、積極的に手を挙げて思ったことを素直に発表する場面もありました。

その後、金属鏡の作り方について実演説明を受け、いよいよ鏡作りにチャレンジ！自分たちの鍋の中で金属が溶けると歓声があがりました。自分たちの鑄型への流し込みの瞬間は、みんなちょっと緊張した真剣な表情で作業に取り組み、型から取り出す際には再び歓声があがっていました。研磨作業は途中で少し疲れた様子も見受けられましたが、磨いてピカピカになるにつれ、疲れを忘れて没頭していました。

一端トイレ休憩をとった後、教室に展示した土器や古銭に触って当時の生活やものづくりの技術の高さに感心していました。

最後に「和同開珎」づくりに挑戦。鑄型から取り出した枝銭を分割して一人ひとりに配ると、鏡を磨くのと同様に、児童たちは一生懸命に磨きをかけていました。

自分たちの町の遺跡や歴史、古代の技術を学び、体験した一日となりました。

2. 活動の様子

1)佐田町の遺跡について知ろう



「みんな注目！佐田町にはこんなに遺跡があるんです。」



「やっと冷えたみたい、うまくできたかなあ！」



「こっちもうまくいったようです」

2)古代体験活動①～金属鏡づくり～



「金属も溶けたし、いよいよ流し込むよ、緊張する〜!!」



「よかった、ぱっちりデス♪」「頑張って磨くぞお！」

3)ちょっと休憩～遺物にふれてみよう～



「今日は弥生土器や寛永通宝をもってきました」

2)古代体験活動②～和同開珎づくり～



「小さくてうまく磨けない～、うまくできた～？」



「難しいけど、だいぶピカピカになってきた！」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・昔の物をもっと知りたいと思いました。
- ・佐田町のほかに出雲市にはどんな「たたら」や「城跡」などがあるのか知りたいです。
- ・昔の人が使っていた物を知りたいです。
- ・勾玉や小さい住居とかを作ってみたいです。

2)担任の先生から…

- 地域に残る遺跡がたくさんあることが子ども達に分かりやすく伝わりました。
- 金属鏡・和同開珎ともに作ることが大変だったことから、昔の人の苦労を実感できたと思います。

3)埋文センターから

佐田地域にはさまざまな遺跡がたくさんあり、なかでも製鉄関連の遺跡が多いことを学習しました。これからの歴史学習でも地域の遺跡を教材に取り上げてもらい、児童たちの興味関心が深まればと思います。

金属鏡づくりは今回は児童一人ひとりが自分で鑄型に流し込む作業も行いました。小規模校でしかできない体験ということもあり、児童たちには貴重な体験ができたのではないのでしょうか。

和同開珎も鏡と同様、磨く作業の前にうまく流し込みができないと失敗に終わります。磨き作業のなかで鑄造が難しいということも学ぶことができました。

今回の学習活動を通じて、児童たちがこれからの歴史学習の動機づけになればと思います。